

社員 2 人の会社から画像処理のパイオニアへ - 当社の歴史を刻むマイルストーン

# 産業用カメラメーカー IDS が 25 周年を迎える

## 名前

IDS Imaging Development Systems GmbH

## 経営陣

Jürgen Hartmann,  
Jan Hartmann,  
Alexander Lewinsky

## 創立

1997

## 本社

バーデン=ヴュルテンベルク州オーバーズルム (ドイツ)

支店/支社 米国、日本、韓国、英国、フランス、ベネルクス

## ビジョン

USB、GigE、および 3D 産業用カメラ、アプリケーションの AI 搭載組み込みビジョンシステム、アクセサリ

## 沿革:

地元のヒーローでありながらグローバルでも活躍



1997:

## IDS Imaging Development Systems GmbH の設立

Jürgen Hartmann が Armin Vogt と共同で、バーデン=ヴュルテンベルク州オーバーズルム (ドイツ) にて当社を創立しました。当初、アナログ画像をデジタル画像に変換するフレームグラバーや PC プラグインカードを中心としていました。

1998 - 2003

## 会社の創生期

創立してまもなく、IDS はビデオ圧縮ボード PI-RANHA の第 1 世代を発表しました。この製品はその後数年にわたって継続的に最適化されました。セキュリティ技術向けのデジタルビデオ管理ソフトウェア iGuard も発表しました。オーバーズルムにおける新しい社屋は、従業員の増加に伴い、増築されました。

2004

## デジタル産業用カメラメーカーへの転換期

オーバーズルムを拠点とする同族企業は、2004 年 4 月、初の USB インターフェース搭載産業用カメラを発表しました。「当初我々は、馬鹿にされたものです」と創立者の Jürgen Hartmann は思い起こします。「しかし、私たちは USB を産業用途に適したものにしました」これが発端となり、IDS はこのテクノロジーを高性能デジタル産業用カメラに取り入れたパイオニア仲間入りしました。

2007

## オーバーズルムから世界へ

国内市場で成功を収めた IDS Imaging Development Systems GmbH は、国際市場への最初の一歩を踏み出しました。米国ボストン近郊のウォバーンに子会社を開設したのです。同時に、当社初のギガビットイーサネット産業用カメラを発表しました。



It's so easy!



## 2010 - 2012

### 15周年を祝う新しい USB 規格

IDS は東京（日本）にも新たな支店を構え、アジア市場にも参入しました。その後程なくして、パリ（フランス）にも進出しました。製品については、2011年、初の USB 3.0 産業用カメラを、産業用画像処理に関する主要なトレードフェアである VISION Stuttgart で公開しました。

## 2013 - 2016

### 初の 3D 産業用カメラと受賞歴を誇る先駆的な取り組み

IDS は産業用カメラメーカーとしての地位を確立しました。常に新たな革新的なアイデアを探し求め、最初の Ensenso 3D カメラを 2013 年に発表しました。同年、IDS は英国に進出しました。販売店をロンドン（英国）近郊のベイジングストークに開設しました。2 年後、ソウル（韓国）にも開設しました。その後まもなく、両店舗は各国の支店となりました。IDS は当初から新たな分野を切り開き、産業用画像処理の分野におけるパイオニアへと瞬く間に登り詰めました。このような先見性から、イノベーション成功に対して TOP 100 Award を受賞し、ドイツの SME セクターにおける最も革新的な企業に数えられました。

## 2017 - 2019

### 「とても簡単です!」

IDS NXT により、同族企業の当社は、ビジョンアプリベースの画像処理を搭載した新世代のデバイスを投入しました。特筆すべきは、AI 搭載ソフトウェアとの連携に対応していたことです。同時に、当社のモットーである「とても簡単です」に従い、ハードウェアに依存しない新しいカメラホストソフトウェア IDS peak が導入され、ビジョンカメラの取り扱いがシンプルになりました。

## 2020

### 人工知能 (AI) を搭載した初のカメラシリーズ

創立から 23 年後、大きな飛躍が待ち構えていました。IDS NXT プラットフォームで、IDS は AI を搭載したアプリベースの組み込みビジョンシステムを発表しました。ディープラーニングによる画像処理への参入を容易にし、あらゆる企業が利用できるようにする製品です。b39イノベーションおよびテクノロジーセンターがオーバーズルムの創立拠点に移動しました。さらに、創業者の息子 Jan Hartmann が経営陣に参加しました。

## 2021

### IDS が気候中立になり、Vision Channel を開始

「知識は共有すれば増える」。これをモットーに、IDS Vision Channel (#IDSVisionChannel) が 2021 年に開始されました。定期オンラインイベントや、カレンダーやライブチャットなどの実用的なツールに加えて、IDS はメディアライブラリをお客様やパートナーに提供しています。このライブラリには過去のセッションの録画やその他の専用コンテンツが収録されています。こうした成長とともに、人々や環境への責任も忘れてはいません。ビジネスパートナーや従業員への公平性、ファミリーとしての強い一体感に加えて、持続性もその中に含まれています。IDS は 2021 年以降、完全に気候中立な方式を取り入れています。経営陣は Alexander Lewinsky が取り仕切っています。同年、オンラインマーケットプレイス visionpier が設立され、サプライヤ



ーとユーザーをつなぐ場となっています。ユーザーは、画像処理タスク向けの具体的なソリューションにすばやく簡単にアクセスできます。プロバイダーにとっては、すでに実装されているアプリケーションのシナジー効果により、貴重な開発時間を節約できます。

## 現在

### 350 名の従業員と今後に向けた多数のアイデア

当社の 25 周年を迎え、従業員数は 350 にまで増加しました。当初は 2 名で運営していた会社の中規模企業として評判を得て、地域にしっかりと根ざすと同時にグローバルにも展開しました。創立当初は、支社はアイントホーヘンの High Tech Campus (略して HTC) に設立されました。IDS は、世界的な半導体不足、基本的な電子部品のサプライチェーンの逼迫、それに伴う納期の遅延などの現在の課題に対して、柔軟性と創造性で立ち向かいます。新しいハードウェアプラットフォームの短期的開発、開発計画の積極的な修正、効果的なサプライヤー管理を打ち立てて、商品を確実に流通させ、全体的な危機の影響を低減させていきます。

## 今後について

「私たちには、実現が間に合わないほどたくさんアイデアがあります」と創業者の Jürgen Hartmann は言い、今後もパイオニアとしての道を切り開き続けるという IDS の野心を裏付けています。広範にわたるカメラポートフォリオを持ち、IDS は今後他の業界への参入を図っています。装置、プラントおよび機械工学、医療技術、農業、物流など、マシンビジョンソリューションはさまざまな業界や場面で使用され、プロセスを高速化、制御、最適化しています。人工知能の登場により、用途の範囲はさらに広がりました。IDS のカメラが、移動手段およびスマートシティ、環境とスマート農業、産業およびオートメーションの分野で、新たな用途の

## IDS のデータ

2004 年の初出荷より、およそ **180** 万台のカメラが販売されています

70 を超える国々で **11,000** 以上の顧客が IDS を利用しています

IDS のポートフォリオに含まれる製品は **3,200** を超えます

IDS は現在 **6** つのグローバル拠点があります

**350** 名の従業員が常時勤務しています